

Minami Kyushu University Syllabus										
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		開講キャンパス	開設学科		子ども教育学科			
科目名称	LD・ADHD等教育総論						授業形態	講義		
科目コード	750148	単位数	1単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング		
担当教員名	川田 耕太郎								ICT活 用	
授業概要	<p>本授業の目的は、通常の学級に在籍しているLD・ADHDなどのある子どもの困難さを理解し、適切な支援を行う視点を身に付けることである。</p> <p>特別支援学校等での指導経験を活かし、学校の現状を踏まえながら特別支援教育についての理解を図る。</p> <p>具体的には、個人に起因する障害の特性と環境の影響により困難さが増減することを理解し、特別な支援を必要とする児童生徒に対する支援の在り方について学ぶものである。</p>									
関連する科目										
授業の方法と進め方	<p>授業は、プレゼンテーションを用いた講義を中心としながら、グループによるディスカッションや意見交換を行い、学生が自ら考えたり、他者と協議したりすることで思考を深めていく機会を設けます。</p>									
授業計画【第1回】	LDとは LDとはどのような障害なのか、その定義と特性を学ぶ。									
授業計画【第2回】	ADHDとはどのような障害なのか、その定義と特性を学ぶ。									
授業計画【第3回】	LDのある子どもへの指導と支援 学習面に困難さのある子どもの教育的ニーズについて学ぶ。									
授業計画【第4回】	ADHDのある子どもへの指導と支援 行動面に困難さのある子どもの教育的ニーズについて学ぶ。									
授業計画【第5回】	LD・ADHDのある子どもへの自立活動の指導 学習面や行動面に困難さのある子どもに対する指導・支援について学ぶ。									
授業計画【第6回】	校内外の関係者との連携 通級指導教室の担当者や保護者などの関係者との連携の在り方について学ぶ。									
授業計画【第7回】	通常の学級における特別支援教育 ユニバーサルデザイン教育と合理的配慮について学ぶ。									
授業計画【第8回】	交流及び共同学習 障害のある子どもと障害のない子供が共に学ぶ意義について学ぶ。									
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> LDやADHDの障害特性を理解し、説明できる。 通常の学級で学ぶLDやADHDのある子どもへの指導・支援を考えることができる。 授業中のディスカッションや振り返りで、自分の意見をもち、他者と共有しながら考えを深めることができる。 									
学位授与の方針(DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)									

授業時間外の学習【予習】	授業の中で自分の考えや他者との話し合いを求めめるため、各自で授業内容について確認や予習をしておく。(30分程度)
授業時間外の学習【復習】	受講後は小テストを複数回実施するので、学習内容を確認、復習しておく。(1時間程度)
課題に対するフィードバック	小テストは評価後、返却及び解説をする。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価する。 1) 授業に臨む態度と小テスト等の内容(20%) 2) 定期テスト(80%)
テキスト	テキストは使用せず、適宜プリント等を配布する。
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・文部科学省 障害のある子供の教育支援の手引 ・文部科学省 特別支援学校学習指導要領解説 総則編(幼稚部・小学部・中学部) ・文部科学省 特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編(小学部・中学部) ・文部科学省 特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編(小学部・中学部・高等部)
備考	15年間、特別支援学校(知的障害、肢体不自由、病弱)、3年間、小学校に勤務。また、4年間、鹿児島県総合教育センター特別支援教育研修課において研究主事兼指導主事、4年間、鹿児島市教育委員会において特別支援教育担当指導主事として勤務した。